

卓球競技実施要項

- 1 期 日 平成27年7月18日(土)・19日(日)
- 2 会 場 熊本市総合体育館大体育室
- 3 チーム人員 監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、男子選手8名以内、女子選手4名以内、計15名以内とし、選手は日本卓球協会に登録している学生であること。
- 4 競技規則 日本卓球協会制定 日本卓球ルールによる。
- 5 競技方法
 - (1) 団体戦の部
 - ア 出場10チームを3ブロック(3チーム2ブロック・4チーム1ブロック(△・△・□))に分け、ブロック別に予選リーグ戦を行い、各ブロック1位チームによる決勝リーグ戦を行う。試合順序は第1試合をシード校以外のチームとし、第2試合は第1試合の負けチームと残りのチーム(シード校)とする。なお、4チーム1ブロックの中で2チームが2勝した場合、2チームによる直接対決を行い、1位チームを決定する。男子団体予選の予選Cリーグ(4チーム1ブロック)において、4チーム全てが同率(1勝1敗)になった場合は決定戦を行う。
 - イ 前年度決勝リーグ戦の成績によって、第1位チームをAブロックの1番に、第2位チームをBブロックの4番に、第3位チームをCブロックの7番にシードする。
 - ウ 4シングルス、1ダブルスの3点先取法とし、シングルス、ダブルス、ともに11点5ゲームマッチとする。
 - エ ダブルスのオーダー順位は3番におき、同一選手がシングルス、ダブルスに重複して出場してもよいが、1・2番に出場する選手のみでダブルスを編成することはできない。
 - オ オーダーの提出は、試合開始10分前又は前試合終了直後とする。
 - カ 決勝リーグの組合せは、予選リーグ戦の終了後直ちに抽選により決定する。ただし、予選リーグ戦が規定の時間内に終わらない場合は、予選リーグ戦が終了した2チームから行う場合がある。なお、その場合、決勝リーグの組合せは、予選リーグの終了が早い順に、決勝進出チームを2、3、1に置く。決勝リーグ第1試合は、2、3の組合せ決定後直ちに行う。第2試合はその敗者と1で行う。予選リーグ終了がほぼ同時の場合は、抽選により組合せを決定する。
 - キ 担当校又は審判長の判断により、副審判長を置くことができる。
 - ク 団体戦の部の審判は、審判員をもって行う。
 - (2) 個人戦の部
 - ア 男子の部
 - (ア) 1校シングルス8名、ダブルス2組以内によるトーナメント戦とする。
 - (イ) シングルス、ダブルスとも11点5ゲームマッチとする。
 - イ 女子の部
 - (ア) 1校シングルス4名以内、ダブルス2組以内とする。
 - (イ) 組合せは、原則トーナメント戦とし、組合せその他については、監督会議で決定する。
- 6 注意事項・その他
 - (1) 使用球は、日本卓球協会公認球(プラスチック40mm硬式ホワイト)とする。
 - (2) 前の試合が終わり次第、次の試合を繰り上げて実施する。
 - (3) 個人戦(男子)は、該当するチームの団体戦が終了した学校の選手の対戦から行うものとする。
 - (4) 館内においては、卓球シューズ及びスリッパ以外の使用を禁止する。
 - (5) その他詳細については、担当校に一任する。